



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6820 URL <http://www.icom.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 播磨 正隆
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 植畑 敬一 TEL 06-6793-5301
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,996	17.0	424	69.4	341	△1.4	229	△7.6
2019年3月期第1四半期	5,980	21.3	250	—	345	—	248	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 90百万円 (△67.9%) 2019年3月期第1四半期 281百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.51	—
2019年3月期第1四半期	16.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	61,063	55,024	90.1
2019年3月期	61,063	55,304	90.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 55,024百万円 2019年3月期 55,304百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,010	10.8	600	27.0	680	13.5	510	18.8	34.42
通期	31,500	6.1	3,130	28.1	3,330	23.0	2,500	27.3	168.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	14,850,000株	2019年3月期	14,850,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	32,938株	2019年3月期	32,938株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	14,817,062株	2019年3月期1Q	14,817,358株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦の影響や外需の減少に伴い、世界経済は減速基調が継続しました。国内については、雇用環境の改善が続きましたが、実質賃金の伸び悩みなどで消費マインドに陰りが見られました。米国は米中貿易摩擦の影響が大きく懸念される状況にあります。概ね堅調な推移となりました。欧州では、内需は堅調さを維持しつつも、ブレグジット問題の迷走や米中貿易摩擦の影響もあり成長率が鈍化しました。アジア地域では、中国の減速が顕著となりました。

また、当第1四半期連結累計期間に適用した米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ111.03円及び124.57円であり、前年同期に比べ米ドルは3.9%の円安水準、ユーロは3.7%の円高水準で推移しました。

このような状況のもとで、当企業集団は、デジタル化の流れに対応して付加価値の高い製品の開発を進めるとともに、世界の幅広い顧客獲得を目指して新規市場の開拓及び販売ルートの強化に努め、アマチュア用無線通信機器では固定機の新製品が国内外で大きく売上を伸ばし、国内市場ではIP無線機を始め陸上業務用無線通信機器が増収となり、海外市場では米州など全地域で増収となりました。

〈参考〉地域別売上高

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	1,787	29.9	2,340	33.5	130.9
北米	1,830	30.6	2,124	30.3	116.1
欧州 (EMEA)	1,080	18.1	1,182	16.9	109.4
アジア・オセアニア	1,179	19.7	1,194	17.1	101.3
その他 (含む中南米)	102	1.7	153	2.2	150.6
海外計	4,192	70.1	4,655	66.5	111.0
合計	5,980	100.0	6,996	100.0	117.0

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は69億9千6百万円（前年同期比17.0%増）、売上総利益は30億5千8百万円（前年同期比12.6%増）となりました。販売費及び一般管理費は人件費や試験研究費等が増加したことにより前年同期に比べ1億6千8百万円増加し26億3千4百万円となりましたが、売上総利益の伸びがこれを上回ったことから、営業利益は4億2千4百万円（前年同期比69.4%増）となりました。為替差損の計上などにより経常利益は3億4千1百万円（前年同期比1.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億2千9百万円（前年同期比7.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

国内市場では、アマチュア用無線通信機器の新製品が好評を博し前年同期比で大きく増収となったほか、陸上業務用無線通信機器もIP無線機を中心に増収となりました。海外市場では、アマチュア用無線通信機器が新製品効果で増収となり、陸上業務用無線通信機器も堅調に推移したことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は40億5千5百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

利益面では、試験研究費や広告宣伝費等が増加しましたが、営業利益は2億4千1百万円（前年同期比1.4%増）となりました。

② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA.]

陸上業務用無線通信機器は前年同期並みの水準となりましたが、アマチュア用無線通信機器では新製品が高い評価を受け増収となり、海上用無線通信機器も販促効果で増収となったほか、メキシコを中心に中南米市場での売り上げが回復したことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は22億8千6百万円（前年同期比17.2%増）となりました。

利益面では、増収並びに販売費及び一般管理費の削減により6千5百万円の営業利益（前年同期は1千6百万円の営業損失）となりました。

③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH、Icom Spain, S.L.]

対ユーロは前年同期に比べ3.7%の円高水準で推移しましたが、アマチュア用無線通信機器が新製品効果により大きく増収となり、他の品目は減収となったものの、本セグメントの外部顧客に対する売上高は4億1百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

利益面では、増収により営業利益は4千3百万円（前年同期比30.9%増）となりました。

④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty., Ltd.、Asia Icom Inc.、PURECOM CO., LTD]

主力市場となるオーストラリアにおいて、対豪ドルは前年同期に比べ3.0%の円高水準で推移しましたが、アマチュア用無線通信機器が新製品効果により大きく増収となり、また、陸上業務用無線通信機器は大型案件の獲得やIP無線機の拡販から増収となったことで、本セグメントの外部顧客に対する売上高は2億5千2百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

利益面では、増収並びに販売費及び一般管理費の削減により営業利益は2千3百万円（前年同期比113.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度比0百万円増加し、610億6千3百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加54億4千2百万円、有形固定資産の増加2億7千8百万円及び流動資産のその他の増加1億7千1百万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少54億1千8百万円及びたな卸資産（合計）の減少4億4千5百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動資産のその他の増加1億7千1百万円の主な内訳は、未収消費税の増加9千5百万円及び前払費用の増加6千4百万円等の増加要因によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度比2億8千1百万円増加し、60億3千9百万円となりました。

主な内訳は、賞与引当金の増加4億2千万円、流動負債のその他の増加2億2千万円及び買掛金の増加1億4千6百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少5億2百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動負債のその他の増加2億2千万円の主な内訳は、未払金の増加3億7千2百万円等の増加要因と、未払消費税の減少2億9百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度比2億8千万円減少し、550億2千4百万円となりました。

主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加2億2千9百万円及びその他有価証券評価差額金の増加3千2百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少3億7千万円及び為替換算調整勘定の減少1億6千9百万円等の減少要因によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は90.6%から90.1%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間並びに通期の見通しにつきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では2019年5月14日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,466	30,908
受取手形及び売掛金	9,187	3,768
商品及び製品	4,887	4,275
仕掛品	109	143
原材料及び貯蔵品	4,327	4,460
その他	2,261	2,433
貸倒引当金	△13	△15
流動資産合計	46,227	45,974
固定資産		
有形固定資産	7,597	7,875
無形固定資産	259	277
投資その他の資産		
その他	7,033	6,990
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	6,979	6,935
固定資産合計	14,836	15,088
資産合計	61,063	61,063
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,095	1,241
未払法人税等	586	84
賞与引当金	788	1,208
製品保証引当金	49	42
その他	1,591	1,812
流動負債合計	4,111	4,389
固定負債		
退職給付に係る負債	1,122	1,113
その他	524	536
固定負債合計	1,646	1,649
負債合計	5,758	6,039
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	37,887	37,747
自己株式	△106	△106
株主資本合計	55,312	55,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	65
為替換算調整勘定	186	17
退職給付に係る調整累計額	△227	△230
その他の包括利益累計額合計	△7	△146
純資産合計	55,304	55,024
負債純資産合計	61,063	61,063

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	5,980	6,996
売上原価	3,263	3,937
売上総利益	2,716	3,058
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△1	2
給料及び手当	593	579
賞与引当金繰入額	81	135
退職給付費用	19	22
試験研究費	872	951
その他	899	943
販売費及び一般管理費	2,465	2,634
営業利益	250	424
営業外収益		
受取利息	24	28
受取配当金	5	6
投資有価証券売却益	4	2
為替差益	100	—
その他	8	6
営業外収益合計	143	42
営業外費用		
売上割引	36	0
為替差損	—	119
その他	11	6
営業外費用合計	48	125
経常利益	345	341
税金等調整前四半期純利益	345	341
法人税等	97	111
四半期純利益	248	229
親会社株主に帰属する四半期純利益	248	229

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	248	229
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	32
為替換算調整勘定	96	△169
退職給付に係る調整額	△1	△3
その他の包括利益合計	32	△139
四半期包括利益	281	90
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281	90

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。